

「男鹿の逸品」勢ぞろい

きょうまで 販売イベント 海洋高開発の商品も

男鹿市民文化会館で27日、市内の特産品を集めた販売イベント「男鹿の逸品コレクション」が始まった。食品加工会社など20社がブースを構えて自慢の商品をすらりと並べ、約1500人が訪れてにぎわった。きょう28日まで。

会場には男鹿海洋高校の特設コーナーも設けられ、全校生徒約120人が参加。外食チェーンのドリームリンク、男鹿市との連携プロジェクトで商品化した「鯛飯の素」(さばめしの素)を販売し、試食コーナーでは「ぜひ食べてみませんか」と熱心に売り込んでいた。

3年生の能登拓也さん(18)は自身が携わったギバサブリン大福をアピールし「おいし

い」と言ってもらえてうれし

しもっといい商品に仕上げたい」と話していた。28日は午前10時〜午後3時。午前10時半と午後1時半からはなまはげ太鼓の演奏と駅周辺広場でもイベントを開催している。(藤原剣)



20社の多彩な特産品を集めた「男鹿の逸品コレクション」



男鹿海洋高校の生徒が開発に取り組んだ商品をPRした試食コーナー